

日包工 2024 第 42 号  
2024 年 6 月 17 日

一般社団法人日本包装機械工業会  
会員各位

一般社団法人日本包装機械工業会  
青年部会 部会長 古城 美将  
(公 印 省 略)

**青年部会・研修会**  
**『目から鱗！経営者から若手リーダー候補まで納得の成長論』**  
**開催のご案内**

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当会青年部会活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当会青年部会では、2024 年 7 月 18 日（木）に包装機械会館におきまして、大島 康義 氏〔(株)大島康義経営研究所 代表取締役 後継社長専門 事業承継&企業変革コンサルタント〕を講師に招へいし、『目から鱗！経営者から若手リーダー候補まで納得の成長論』をテーマに、「研修会」を開催いたします。講演終了後には、講師の大島様を囲んでの「名刺交換会」も実施する予定です。ご多用の折とは存じますが、次頁記載の開催要領をご高覧のうえ、奮ってご参加賜りますようここにご案内を申し上げる次第です。

つきましては、次頁記載のご登録フォーム URL または QR コードより、ご参加可否の趣をご回答いただきますようお願いいたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

《お申込み・お問合せ先》

(一社)日本包装機械工業会「青年部会」事務局（担当：森山、佐藤）  
所在地：東京都中央区新川 2-5-6 包装機械会館 3 階（〒104-0033）  
電 話：03-6222-2277/E-mail：moriyama@jpmma.or.jp

## 青年部会「研修会」開催要領

1. 日 時 2024年7月18日(木) 12:30~17:00
2. 会 場 包装機械会館 2階 会議室  
所在地: 東京都中央区新川 2-5-6 (〒104-0033)
3. 主 催 (一社)日本包装機械工業会 青年部会「幹事会」
4. 講 師 大島 康義 (おおしま やすよし) 氏  
(株)大島康義経営研究所 代表取締役 後継社長専門 事業承継&企業変革コンサルタント
5. 主 題 『目から鱗! 経営者から若手リーダー候補まで納得の成長論』
6. プログラム 12:30 開会・主催挨拶  
(予定) 12:35 講 演  
16:00 名刺交換会 ※リフレッシュメントをご用意させていただきます。  
17:00 閉 会
7. 参加費 12,000円(税別) ※後日請求書でのご請求となりますが、参加者数によって、若干変動する場合がございますこと、予めご了承ください。
8. お申込み 1) 申込期限: 2024年7月11日(木)  
2) 申込方法: 本開催要領ご承諾のうえ、下記または右記  
ご登録フォームよりお申込みください。  
▼ご登録フォーム  
<https://forms.gle/mtub8QqqR47KJxor8>  
3) 定 員 : 40名 ※お申込先着順にて定員になり次第、申込終了となります。  
\* 申込期限 2024年7月11日(木) 以降のお申込取消につきましては、キャンセル料が発生いたしますので、ご注意ください。



## ～「研修会」補足～

### ◆講師：大島 康義（おおしま やすよし）氏プロフィール



100 億円の負債で実質破綻していた父の会社の後継者体験を経た後、後継社長専門コンサルタントとして活動を開始。300 社以上の事業承継・変革を成功に導く。後継者が事業、組織、株式等を超友好的に乗っ取る手法を開発し、後継者主体で事業承継を実現し、先代の会社を新規事業化させるコンサルティングを提供する。国が運営する中小企業大学校経営後継者研修の講師でもある。

### ◆講演概要

事業承継・企業変革コンサルティングの第一人者が、後継者・後継社長を無力化する常識論からの脱却を説き、将来の後継社長の大活躍と企業の大発展の前提を整える。

【後継社長の職業名は、決して、「経営者」であってはならない】

【後継者の使命は、決して、企業を守ることではない】

【事業承継は、決して、相続と同じと考えてはならない】

世の中の常識とは真逆だが、他では聞くことができない目から鱗の核心を突く講演を行う。

### <ポイント>

- 後継者・後継社長を対象にした形で話を進めるが、これまで、数多くの幹部社員、リーダー候補が聞き、「面白く、役に立つ話だ」と喜んでいただいた。
- 事業承継は、会社に関わっている以上、人生を大きく左右するものであり、創業者、幹部社員、一般社員の方々にとっても、聞いておくべき話である。
- 講演の中でお伝えする、常識論からの脱却や3つの軸の切り口は、後継者・後継社長以外の方も人生に活かせる内容が多い。
- 後継者・後継社長・事業承継の切り口で話を進めるからこそ、インパクトのある話になり、後継者・後継社長以外の方にも納得のいく内容になると考える。

以上